

年頭のごあいさつ



鞍手町長 岡崎邦博

新年 あけましておめでとうございます。

町民の皆様におかれましては、平成31年の希望に満ちた輝かしい新春をお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。

さて、昨年を振り返ってみますと、鞍手町にとりましては大きく揺れた激動の一年でありました。

一昨年に発覚したくらくらて病院に対する前町長の権限を逸脱した不当な介入により、3月末で内科常勤医師6名が退職することとなり、それまで入院や通院されていた患者様には大変なご迷惑とご不安をおかけする事態となりました。

謹んで新年のご祝詞を申し上げます

平成31年 元旦

7月6日には、7月豪雨により遠賀川の水位が上昇し、一時極めて危険な状態となり、本町では初めてとなる町内全域に避難指示が発令されました。町内11か所の避難所に延べ305名の方々が避難され、不安な一夜を過ごされました。また、ここ数年では珍しく6個の台風が九州に接近もしくは上陸し、改めて近年の異常気象を感じる年でした。

そして7月9日には前町長が逮捕されるという町民の皆様にも鞍手町にとりましても極めて重大で憤りを禁じ得ない事件が起きました。町民の皆様は町政に対し、不信感と失望感、そし

て言いようのない腹立たしさを感じられたことと思います。一度失った町政に対する信頼を回復することが、どれほど難しく険しい道のであるかは想像もつきませんが、私自身が先頭に立ち、町民の皆様から信頼される町政運営を取り戻したい、小さくても心豊かで幸せを感じ、自信と誇りの持てる町にしたいという決意と覚悟を決めた年でもありました。

前町長が7月末で辞職した後に行われた町長選挙には、この決意と覚悟を持って立候補させていただきました。多くの町民の皆様からご支援とご厚情を賜り、当選させていただきました。鞍手町の舵取り

を担わせていただくことになりました。その責任の重さを改めて感じているところです。

私は今後、町長として公平公正で町民に開かれた町政を推進するため、町民皆様のご意見に耳を傾け、行政のトップとしてのコンセンサス（合意形成）を図りながら、町民の皆様とともに新しい鞍手町を築いていく所存です。

鞍手町は、歴史と伝統のある町であり、また、新しい未来に羽ばたいていく町だと思っています。受け継ぐべきものは大切に受け継ぎ、改めるべきものは改めていきながら進んで参りたいと考えています。

本年は、4月30日に天皇陛下が退位の日を迎えられ、5月1日には皇太子殿下が即位される日本国において歴史のかつ記念すべき年でもあり、鞍手町にとっても新たな時代を切り開くスタートの年にしたいと思います。

この記念すべき年を町民の皆様とともに迎え、お祝いできることを大変慶ばしく感じております。

結びに、新しい年が町民の皆様と鞍手町のさらなる飛躍の年となりますよう祈念申し上げます、新年のご挨拶とさせていただきます。

